

ひまわり



11

2023

2023年11月15日発行(隔月15日発行)



- ② 【情勢】 亀岡市障害者相談支援センターお結びの役割と地域とのつながり
- ③ ちょっと聞いてよ! 第47回 / 亀岡の元気を埼玉に!
- ④ ⑤ 【地域とのつながり】 ハートフェスタ2023 たくさんのご来場ありがとうございました!
- ⑥ 職員に聞きました! / 時

● 今月号の表紙写真: デイセンターぼれぼれ (前田 昭輝さん)
音楽が大好きな前田さん。いろんな歌を知っていて、お気に入りの曲を職員に歌って欲しいとリクエスト!
職員が歌うと素敵な笑顔で応えてくれます。写真は隣で職員が歌う歌声を聴いている前田さんです。

亀岡市障害者相談支援センターお結びの

役割と地域とのつながり

地域活動支援センター絆

センター長 柳谷 香理

亀岡市障害者相談支援センター

お結びの役割

亀岡福祉会の相談支援事業（計画相談）は、2010年4月に亀岡福祉会相談支援センター巴（ともえ）として京都府の指定を受け、事業が始まりました。

また、2011年4月には地域生活支援事業の相談支援事業として亀岡市から委託を受けて、亀岡市障害者相談支援センターお結び（委託相談）を開設しました。その後、2021年4月には巴（ともえ）とお結びの名称を「お結び」に統一しています。

計画相談とは、障害のある人が障害福祉サービス利用の際に

相談支援専門員がサービス等利用計画書を作成し、障害のある人の自立した生活を支え、その人が抱えている課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントにより支援をするものです。

委託相談のお結びとしての役割は、障害のある人の福祉に関する様々な問題について障害のある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助もを行います。

そして、今年の4月から、基幹型相談支援の一部を亀岡市から委託を受けて事業が始まりました。内容としては、この地域

の相談支援体制を強化していくために、地域の相談支援事業者への専門的な助言や人材育成、相談員のスキルアップを目指して研修会の実施を行います。また、地域の相談機関との連携も強化していくことが役割となっています。

相談支援事業を通して

地域とのつながり

寄せられる相談は、障害のある人やご家族からだけでなく、地域の方、高齢福祉関係の方、警察、病院など多職種の方からの相談も増えてきています。「8050問題」、生活困窮、虐待などのあるご家族など、ご

本人支援だけにとどまらず、ご家族や取り巻く環境の中で問題は複雑に絡み合っています。お結びだけの関わりで解決へ向かっていくことは不可能で、地域の方、関係機関の方々とのチームアプローチや多職種連携が欠かせません。障害のある人の人権を尊重することを大切に、その人が地域で生きていくために一つの点ではなく、関係機関の方々と面で支援を進めていくことを心がけています。

個別の課題を地域の課題として捉え、この地域の社会資源が豊かになるように、障害のある人の「その人らしい生活」を支援していけたらと思います。

第47回

はせがわ みどり
長谷川 翠里さん
(かめおか作業所)

「ちょっと聞いてよ！」



かめおか作業所クラフトグループで働く長谷川さんに、作業所での仕事の事や日々の楽しみの話などを聞きましました。インタビュをお願いますと笑顔でいいよと答えてくれました！

「クラフトグループにはどんな商品がありますか？」

作っているのは…(一緒に考えて)きょうされんふきん、お酒のラベル、ペンケース、カバンとか。※ウイスキーボトルの西陣織のラベル、高校の卒業記念品、小学校の入学用品、真綿のカイロなど

「長谷川さんはどんな作業をしていますか？」

今日はティッシュケース (亀岡市役所からの注文の景

品)の裏返しの作業をしました。あとは布切り。

「作業所で楽しみにしていることはありますか？」

(ショートステイ利用の) お泊り！今日からあゆみ荘に2泊するねん♪お泊りのカバンもってきた。隣の部屋に置いてあるので！

(職員と)一緒にごはんをつくるのが楽しい！今日は何やろうなあ？お好み焼きかなあ？トランプやパズルも持ってきたし、お母さんと荷物の準備するのが楽しい！

「自宅ではどのような過ごし方をしていますか？」

テレビを観てる！ドラマみてる。(次の日の朝にはクラフトグループの仲間と)ドラマをみた話してる！
あとはポンちゃん(愛犬)といっくん(姉の孫)が家に来たら一緒に遊んでる。

ショートステイを毎月とても楽しみにしている長谷川さん。この日はちょうど泊まりに行く日で、持って来た荷物を指さしながらとても楽しみにしている様子でした。

亀岡の元気を埼玉に！



参加したみんなで記念撮影

8/30~31日にきょうされん第46回全国大会in埼玉が参集のもと大宮ソニックシティをメイン会場に開催されました。

亀岡からは16人が参加。全国から約2,800人、うち約1,300人の障害のある人たちが集うきょうされんらしい大会となり、会場全体を熱気と笑顔であふれさせ、夏の終わりをさらに熱くさせていました。

命・人権・平和にこれまで以上に思いを寄せて、めいっばい学びと交流を深める2日間でした。なにより

参加者の声

「元気やった〜!」「みんなに会えてうれしい!」と、語りあい、交流できたことに胸が熱くなりました。全国の仲間と確かめ合った《わたしらしくあなたらしく、生きられる社会を》の実現に向け、亀岡でも今大会で得た、学びと元気をこれからの活動にしっかり活かしていきたいと思えます。

「せっかく手に入れた障害者権利条約! 私たちはもって活用しないと!」

(家族)

「リモートでは味わえない熱気と迫力! 多くの感動と学びがありました!」

(家族)

「ステージで素敵なダンスや音楽を楽しそうに披露する姿に感動!」

(職員)

「自分たちの仕事を自信をもって紹介する利用者の姿に嬉しくなった!」

(職員)

「参加した亀岡のみんなとも交流が深まり楽しかった!」 (職員)

「ドキドキして早起きしたけど、名刺交換もできて良かった!」 (利用者)

「新幹線に乗ってみんなと会えた!」

「電車も動かして楽しかった!」 (利用者)